

秋田県溪流環境 整備計画

これからの
秋田県の砂防事業
について
お話ししましょう。



これからの砂防事業の方向性

砂防事業は、土砂災害から人命や財産を守るために砂防ダムなどの砂防施設を整備しています。従来の砂防事業では、機能面や経済性を重視し、砂防施設周辺の自然環境や景観への配慮が十分になされないこともありました。しかし、最近では自然環境に対する世論の高まりを背景に平成5年に「環境基本法」が成立し、これを踏まえて「環境政策大綱」が策定されました。これは建設省の環境政策の基本的な考え方を明らかにしたものです。

秋田県溪流環境整備計画は、その一計画として位置づけられるものであり、秋田県の砂防事業における環境配慮の姿勢を示すものです。この計画は、地元市町村からの情報収集、学識経験者・有識者からなる委員会での審議を経て、とりまとめられたものです。

秋田県のこれからの砂防事業は、この秋田県溪流環境整備計画にそって実施していきます。



従来の砂防ダム工



従来の流路工

溪流環境整備計画とは

「秋田県地域溪流環境整備計画」は、次のような過程の下に策定されました。

流域特性の把握

自然や社会的な条件、防災特性などについて流域の環境を調べました。

環境ゾーンの設定

どのような地域なのかが一目でわかるように、秋田県を地域区分しました。

基本方針の設定

砂防事業における今後の環境配慮のあり方について、基本となる考え方を決めました。

整備方針の策定

砂防施設の整備を行う際にどのような点に配慮すべきかを整理し、対処の方針を決めました。

溪流環境整備計画書作成

「秋田県溪流環境整備計画書」として、とりまとめました。

秋田県の自然

秋田県はその豊かな自然が作り出す、美しい風景にあふれています。

四季の変化が美しい世界遺産登録地白神山地や八幡平、栗駒山地、森吉山のブナ林。田沢湖や十和田湖の透きとおった湖水。男鹿や鳥海の雄大な眺め。

このすばらしい森や湖は、秋田三大河川、米代川、雄物川、子吉川を生み、様々な生き物に命を与えます。その流れは秋田の風土を映し、豊かな表情を見せてくれます。この魅力的な自然は後世に伝えるべき貴重な財産です。



男鹿半島二ノ目潟



横手盆地からの鳥海山



旭川上流 仁別国民の森



藤琴川



真瀬川



長木川



六郷町の湧水

秋田の動植物

県 土の約7割が森林に覆われていますが、その多くはスギの植林地とコナラやミズナラなどの二次林と呼ばれる森です。これらの森は県民の生活の場と密着した場所にあることから、ふるさとの森としても定着し、また様々な生き物のすみかとなっています。一方、ブナ林や高山植生など、いわゆる原生的な自然は白神山地、八幡平、森吉山、太平山、栗駒山周辺などに残されています。



桧木内川上流、
小波内川のブナ林



ニホンカモシカ



ツキノワグマ



オコジヨ



ヤマネ



小阿仁川

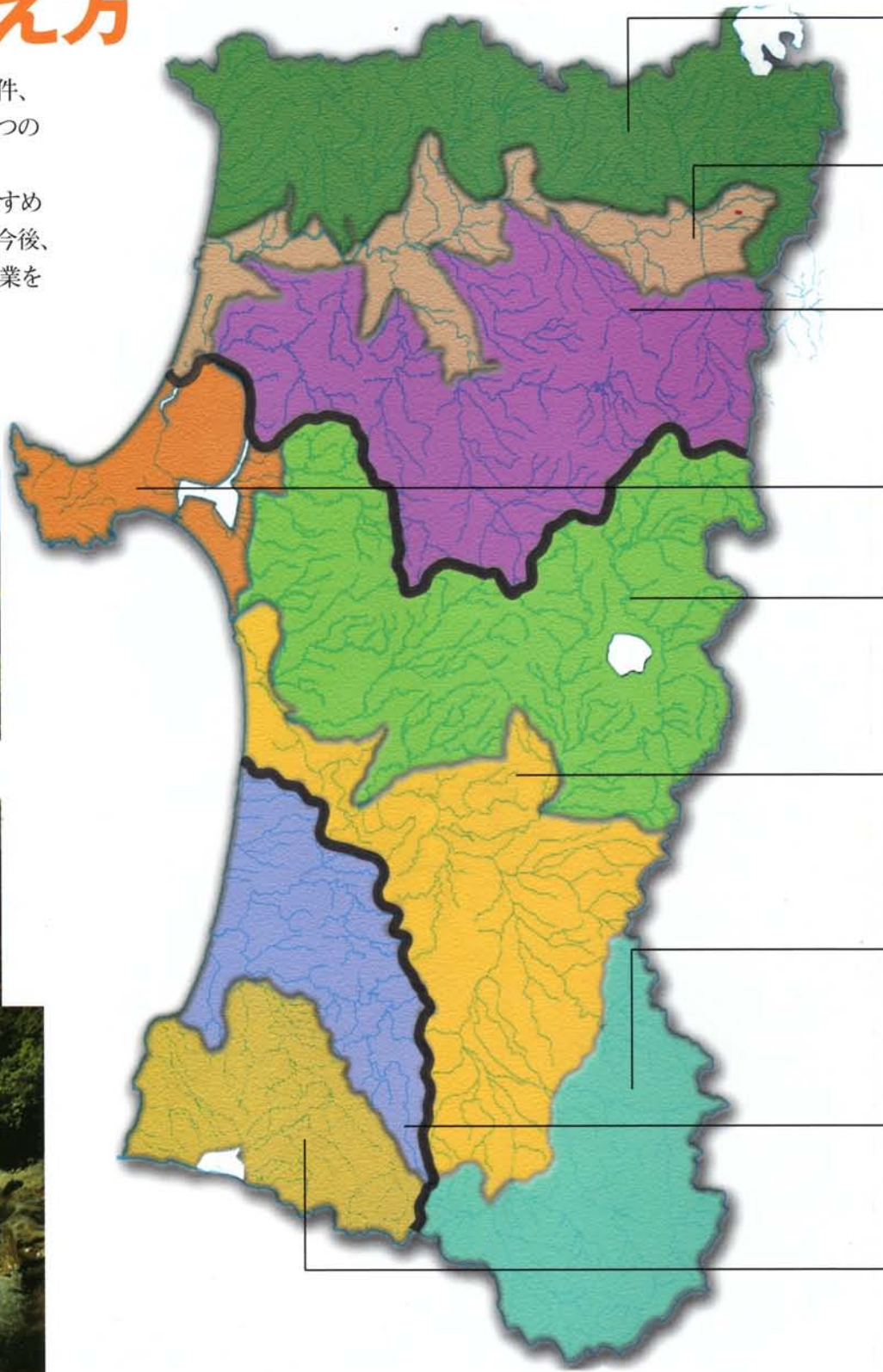


■ ブナやミズナラの森にはツキノワグマやニホンカモシカをはじめ、ヤマネ、モモンガ、オコジヨなど全国的にも少なくなった哺乳類がすんでいます。

基本的な考え方

秋 田県を自然環境や社会的な環境条件、防災特性などをもとに次に示す9つの地域に区分しました。

この9つの地域に対して、砂防事業をすすめる上での基本的な考え方を決めました。今後、この基本的な考え方に基づいて、砂防事業をすすめていきます。



真瀬川



東成瀬
北ノ又沢

山間の森や溪流には、木に卵を産みつけるモリアオガエルやトウホクサンショウウオ・クロサンショウウオが生息しています。標高の高い所には、ハコネサンショウウオもすんでいます。



ハコネサンショウウオ



モリアオガエル



ハッチョウトンボ

米代川右岸ゾーン

- 良好な自然環境・景観の保全を図ります。
- 十和田湖の観光拠点整備に対して、良好な水辺の創出を図ります。

米代川本川ゾーン

- 身近な自然とのふれあいの場の創出を図ります。
- 地域整備計画との連携を図ります。

米代川左岸ゾーン

- 阿仁・森吉地区の観光拠点整備に対して、良好な水辺の創出を図りながら、砂防施設の重点的な整備を図ります。
- 良好な自然環境・景観の保全を図ります。

男鹿ゾーン

- 漁村等の保全対象について砂防施設の整備を図ります。

雄物川右岸ゾーン

- 良好な自然環境・景観の保全に努めます。
- 田沢湖や太平山の観光拠点整備に対して、良好な水辺の創出を図りながら砂防施設の重点的な整備を図ります。

雄物本川ゾーン

- 身近な自然とのふれあいの場の創出に努めます。
- 多様な地域整備計画との連携を図ります。
- 秋田市、横手市などの保全対象について砂防事業の重点的な整備を図ります。

雄物川上流ゾーン

- 西栗駒の観光拠点整備に対して、安全で快適な土地の創出を図りながら、砂防施設の重点的な整備を図ります。
- 良好な自然環境・景観の保全を図ります。

子吉川右岸ゾーン

- 本荘市の保全対象に対して砂防施設の集中的な整備を図ります。
- 身近な自然とのふれあいの場の創出を図ります。

子吉川左岸ゾーン

- 鳥海高原の観光拠点整備に対して、良好な水辺の創出を図りながら、鳥海山の火山噴火対策砂防事業の推進を図ります。
- 鳥海山麓の良好な自然環境・景観の保全を図ります。



イワナ



イバラトミヨ



ヤマメ



カジカ



アユ

イヌワシ



オオセッカ



オシドリ



オオジュリン



ヤマセミ



クマゲラ

コアジサシ



秋田県内では、約280種の鳥類が生息しています。

なかにはクマゲラやイヌワシ、オオセッカなど全国的にも珍しい種やオオジュリン、クロサギ、コアジサシのように分布域が限られた鳥類も生息しています。

ブナやミズナラの森を流れる溪流にはイワナやヤマメ、カジカなどの溪流魚が数多く生息しています。また、海から近い溪流にはカンキョウカジカやカマキリ、カワヤツメが生息しています。このほか、ホトケドジョウやアカザ、シナイモツゴなど生息域が限られた貴重な魚類も生息しています。



アカザ



カンキョウカジカ



カマキリ

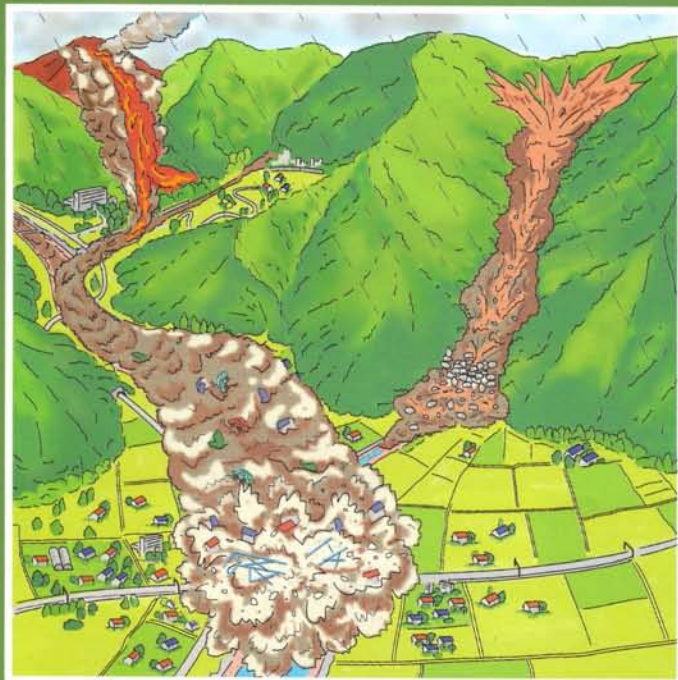


ウグイ

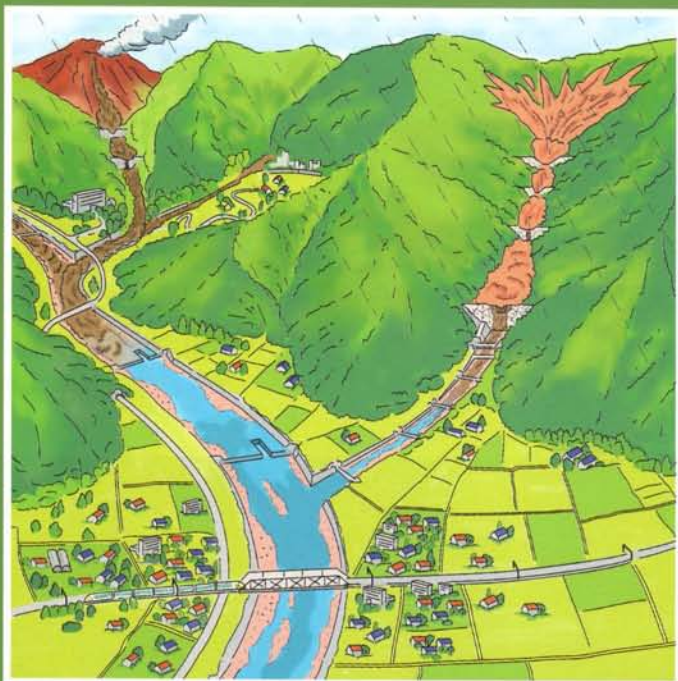
砂防事業とは

土は水により崩れやすくなるため、土砂災害のほとんどは雨によって引き起こされます。そして、流れ出した土砂が川に溜まり被害を一層大きくしています。そこで人命や財産を守るために、土石流対策などの砂防工事が行われています。

砂防施設がないと…



砂防施設があると…



環境に配慮した砂防施設



魚類に配慮した床固工 (奈曾川)



景観に配慮した護岸工 (大川袋沢川)

お問い合わせ

秋田県建設交通部砂防課
〒010-8570
秋田市山王四丁目1番1号
tel : 018-860-2531
e-mail : sabo@pref.akita.jp

表紙の写真 上：真瀬川の紅葉 下：アユ